

科目名	郷土の歴史		学年	類型・コース	単位数
			3年	自由選択5・普通	2単位
学習の目標	・郷土の歴史的事象に関心を持ち、追及可能なテーマを設定することができる。 ・課題を設定して、学習・探求に適切な資料収集の技能を習得する。 ・収集した資料を適切に活用し、テーマに基づいて郷土の歴史的事象を推論し適切にまとめることができる。 ・探求した内容を適切な方法を用いて表現・発表できる。				
教科書 副教材	主たる教材：自主教材 副教材：自主教材				
評価	評価法	定期考査、小テスト、提出物（振り返りシート、問題集、授業ノート、レポートなど）、ペアワークやグループワークでの取り組み、発表などを総合的に評価します。			
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	郷土の歴史の変化に関わる諸事情について、理解することができる。諸資料から郷土の歴史に関する様々な情報を調べ、まとめることができる。	
		b	思考・判断・表現	郷土の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的多角的に考察することができる。課題を把握し解決を視野に入れて構想し、議論することができる。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	郷土の歴史の変化に関わる諸課題について具体的な主題を自ら設定し、主体的に主題を追求したり解決したりする活動を行うことができる。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	近代国家と社会の形成	近代国家の誕生、近代社会の形成、文明開化 近代国家と社会の形成期における滋賀の歴史的事象	定期考査、小テスト	定期考査、発表、振り返りシート、レポート	発表、授業ノート、振り返りシート、レポート
	5月	8	二つの戦争と大日本帝国	日清戦争と日露戦争、帝国形成期の社会 日清戦争期と日露戦争期における滋賀の歴史的事象			
	6月	8	帝国とデモクラシー、デモクラシーの展開と帝国の変遷	第一次世界大戦下の世界、大正デモクラシー、ヴェルサイユ体制とロシア革命、都市化と市民文化、東アジアの情勢と恐慌 大正デモクラシー～恐慌期にかけての滋賀の歴史的事象			
	7月	4	アジアの戦争と第二次世界大戦、現代日本の源流	第二次世界大戦下の世界、戦後世界と日本、冷戦と日米安保体制、戦後の社会と文化 第二次世界大戦期の滋賀の歴史的事象			
夏休み							
2学期	9月	8	調べ学習のテーマの決定	調べ学習の時代・テーマの選定、図書館・関係諸機関の資料・インターネットの資料の活用方法、著作権について	定期考査、小テスト	定期考査、発表、振り返りシート、レポート	発表、授業ノート、振り返りシート、レポート
	10月	8	テーマの内容に基づいた情報整理	テーマに基づいて滋賀の歴史的事象を考察し、情報収集と整理を行う。			
	11月	8	テーマの探究とまとめ	滋賀の歴史的事象が日本史の中でどのように位置付けられるかを検討する。			
	12月	4	調べ学習のまとめ	レポートを作成し、プレゼンテーションの準備を行う。			
冬休み							
3学期	1月	6	発表会と自己評価	発表内容を相互評価し、成果と課題を各自がまとめる。	小テスト	発表、振り返りシート、レポート	発表、授業ノート、振り返りシート、レポート
	2月						
	3月						

担当者からのメッセージ（学習方法など）

授業時の指示をしっかりと聞いて、レポート作成や発表に丁寧に取り組みましょう。